



NIKAHO LIFE

当市に魅力を感じて移住してきた2組のご家族を移住リエゾンがインタビューしました。

移住リエゾン 新井真知子

今回2組のご家族にインタビューをする新井さんは男鹿市出身。本市の自然に惹かれ昨年9月に福島県から移住してきました。現在は当市の移住リエゾンとして活躍し、移住促進事業に取り組んでいます。



『子育て支援が充実した 住みやすいまち』

—1組目は、東京からUターンした渡辺さん家族です。よろしくお願ひします。始めに移住することになったきっかけを教えてください。

渡：東京で働いていたときもいつかは秋田に帰ってこようと思っていました。移住を決めた一番の理由は娘のことを考えてですね。娘を実家に連れてきたときに伸び伸びしている姿を見て、こんな環境で育てられたらいいなと思って。娘もある程度物心がついてきたので、就学する前のタイミングがいいのではと思ひ移住しました。

—こちらに帰ってくることに
り仕事はどうされたんですか？

渡：私は県内で昨年末に開催されたAターンフェアに参加し仕事を

探しました。その時話を聞いた市内の製造業の会社に正月明け面接に行って採用していただきました。移住前は合唱歌手やブライダル関係の仕事をしていました。製造業は未経験ですが、物を作ることや工具をいじったりするのは結構好きなんです。まだ慣れていないので大変ですが、仕事はすごくやりがいがあります。

—2人にとって一番心配なことは
はなんでしたか？

渡：収入ですね。暮らしていける

担額を見てこれは来てよかったと思ひました。

—住み心地はどうですか？

渡：すごくいいですね。東京にいた頃とは違って会社が近いので家族と過ごせる時間が増えました。あと自然が多くて、毎週ウサギの餌やりや家族で市内の牧場に出かけています。娘は南極公園が特に

お気に入りです。みんなクジラ公園って言うんですよね。娘も遊んだりして体を動かさないといストレスが溜まるので公園は助かりますね。

—にかほ市の残念なところはあ
りますか？

渡：買い物物が不便なところと病院が少ないところですね。東京だと何でもすぐ買い物に行けたし、すぐそばに総合病院だけでもいくつもあってすぐに行けました。生まれ育った所ではあります。自然はいいですが、自然から出て便利な環境に行くとなれるのに時間がかかりますね。



娘さんが大好きな南極公園で一休み

渡：娘が6月から保育園に行っています。保育

のか心配でした。給料は東京に比べると少ないですが、家賃は安いし何とかなるのかなと。移住者向けの家賃助成があったり、実家が近くにあるので野菜や米をもらったりと助かります。

—奥様はいかがですか？

渡(妻)：やはり収入は不安でした。私が妊娠で働けない。でも、にかほ市は助成金などの制度が充実していても助かりました。

—はい！助成金の話が出て
きました！

渡：にかほ市はまるごと優しく迎えてくれる感じですよ。会社の面接時の交通費補助があつて、少ない自己負担で面接を受けることができました。

渡(妻)：それから、にかほ市は妊婦検診の助成が素晴らしいです！負担額を見て驚きました。東京では自己負担が高額でしたが、こちらで病院に行った時、「えっ!?無料なんですか？」と思ひました。市町村で助成額が違うと思ひますが、負

園の皆さんに温かく迎えてもらいました。保育園は待機児童ゼロで自宅からも近く住みよいまちだと思ひます。さまざまな場所で温かく迎えてくれたのでありがたうございますと伝えたいです。

—にかほ市でこれからやりたいことはありますか？

渡(妻)：いずれば子育てをしながらピアノ教室を開くことができたらいいかと思います。

渡：東京にいたときは、音楽・合唱の指導も仕事にしていました。にかほ市でも音楽に関わる活動ができたらうれしいです。

—何か音楽活動ができた方がいいですね。今日はありがとうございました。



インタビューに答えるご夫妻
今回取材に応じてくれた渡辺隆寛さんご一家。夫の隆寛さんは当市出身で大学進学を機に山形へ。その後、12年間の東京生活を経て今年4月ににかほ市にUターンしてきました。

インタビューに出てきた市の支援制度

- ▷住まいの支援
若者夫婦・子育て移住世帯家賃助成事業
夫婦のいずれもが40歳未満の若者夫婦または18歳以下の子どもがいる子育て移住世帯が入居する貸家やアパート等の家賃の2分の1を12カ月間補助します。(月額上限1万円)
- ▷仕事の支援
Aターン就職促進交通費等助成事業
県外在住者が、市内企業に就職する為に受けた採用面接・インターンシップに要した交通費等の2分の1を補助します。(上限2万5千円)

商工政策課 ☎43-7600

- ▷妊娠・出産の支援
妊産婦健康診査等助成事業
妊娠中に最大16回健康診査にかかる費用の一部を助成します。また、産後2週間・1カ月健康診査、母乳育児相談を3回受診できます。
- 妊産婦医療費助成事業
市在住の妊産婦の方を対象に、保健医療機関等で支払った医療費の一部を助成します。所得制限はありません。(上限3万円)

にかほ市ネウボラあのおね ☎38-4200 (金浦保健センター)

にかほ市
移住
一口メモ